

【ばか話】牝馬限定血統表 <hat>

<Nifty-FHCUL[14]#08414>

以前、遺伝子ルートにおいて、X染色体上に重要な情報が乗っているという説を何かで読んだ時の話です。

その時、バカな私は考えました。
 遺伝子の変異を無視して、X染色体のみの受け渡しに着目する視点を検証する場合、通常血統表ではどうもピンとこない。
 X染色体の血量・祖先構成・世代関係を眺める立場で血統表を組み直してみる価値はあるのではないか。
 (どこに価値があるかと言うと、たぶん誰もやってくれそうにないから。)

性染色体の遺伝メカニズムに関して、漠然と次のようなイメージを抱いていました。(個人的な思い込みにすぎないことを強調しておきます。)
 ・Y染色体の方は個体の世代交代に合わせたスピードで変異を重ねていくことが可能。環境の圧力に適應するための仕掛け。
 ・一方、X染色体は、BMSのルートを経由した古い世代の遺伝情報が雌体の中で毎世代再ブレンドされる。種の基本となる要素を性急すぎる変異から守る仕掛け。

ここでは、サラブレッドの場合、X染色体の世代の中に個体の世代がどのように分布してるのか眺めてみたいというのが一番の動機でした。

(今回も、言葉足らずの前振りですが、ヤバイでしょうか。)

というような訳で、とりあえず試作しました。作り方は、普通の血統表を用意して、父の位置に父母を持ってくる作業を繰り返すだけ。
 しかし、いまだに、なんか基本的なことで大勘違いしているような気がしてなりません・・・。

ともかく、仕上がり例を名牝 Mumtaz Begum で披露しておきます。

===== Mumtaz Begum(1932 f) =====4代	
Deadlock(1878 f)	Mineral(1863 f)
Goody Two-shoes(1899 f)	Malpractic(1864 f)
Sandal(1885 f)	Mineral(1863 f)
	Shoestring(1876 f)
Malva(1919 f) -----	
Rose Bay(1891 f)	Violet Melrose(1875 f)
Wild Arum(1911 f)	Rose of Lancaster(1878 f)
Marliacea(1902 f)	Tiger Lily(1875 f)
	Flitters(1893 f)
Mumtaz Begum(1932 f) -----	
Vista(1879 f)	Jocose(1843 f)
Vahren(1897 f)	Verdure(1867 f)
Castania(1889 f)	Sophia(1871 f)
	Rose Garden(1878 f)
Mumtaz Mahal(1921 f) -----	
Sierra(1889 f)	Viridis(1864 f)
Lady Josephine(1912 f)	Sanda(1878 f)
Americus Girl(1905 f)	Clara D.(1875 f)
	Palotta(1893 f)
=====hat母娘ped	

どこがバカ話かと言うと、こんなことする暇があったらもっと血統の基本を勉強すればいいのに、バカなやつ。

では、また。

-----/ RXQ01617 : hat /